

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900267
法人名	有限会社 さつま福祉会
事業所名	グループホーム さつま苑
所在地	鹿児島県伊佐市大口針持1235番地8 (電話) 0995(25)2000
自己評価作成日	平成24年1月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

小学校・郵便局・駐在所・病院等が半径300mにあり、家族と地域住民との交流が確保できる環境にあります。同敷地内に温泉施設があり、利用者の家族・知人にとっても癒しの場として、ゆっくりくつろぐ事ができます。家族・地域住民との定期的な情報交換・勉強会等、相互に研鑽する仕組み作りと共に、利用者に対して環境の変化が少ないよう工夫しながら、イベントなどを通じて日頃より交流を図り、なじみの関係作りに努めています。また、利用者が地域の中で暮らし続けることを、大切にしたい理念を地域の方々に理解してもらえるよう、家族も含め校区コミュニティ・老人会・地元小学生・保育園ボランティア団体などと、伊佐市へのさつま町・さつま川内市よりの玄関口として針持川や、さつま苑前の国道に花いっぱい運動を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは、のんびりとした環境の中で、敷地内に温泉施設があり、いつでも入浴が楽しめる。
- ・近隣に小学校や郵便局・駐在所・病院等があり、入居者や家族・知人にとって利便性の良い環境である。
- ・入居者の人格を尊重し、個別にその人のニーズを把握し、必要とするサービスが提供できるよう職員が一丸となって取り組んでいる。
- ・入居者の残存能力の維持向上の支援や心身ともに穏やかに暮らせるためのケアを目指しており、職員間の連携も強く、入居者の安心と安全につながっている。
- ・地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念に沿って、地域との関係作りや行政との連携を大切にして、周辺の施設や住民との交流も深く、理解や協力を得ている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフと利用者さんが、毎日理念を唱和し、それぞれが自分のこととし実践している。	管理者や職員で作上げた理念は、地域に根ざしたサービスを提供する内容が盛り込まれている。理念は、職員が共有しており、毎日のケアで実践している。また、入居者も一緒になって唱和することもある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域や小学校から行事への招待状を頂き、参加したり、苑での行事への参加の呼びかけに保育園・小学校と協力を頂いている。	地域の人々が温泉に来て利用者や、声をかけ合ったり、地域行事に参加しての交流がある。また、ホームの行事に地域住民や保育園・小学校の協力をもたらしたりして、日常的に交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症ケアの専門として、地域の方との交流の中で、支援策を話したり、グループホームの役割等について説明し、認知症を理解して頂けるよう、説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・民生委員・自治会・老人会・行政・JA女性部と幅広い構成で、2ヶ月に1回定期的に出席して頂き、意見・要望等話し合い、サービスとケアの向上に活かしている。	会議には、家族や民生委員・自治会・老人会・行政等の参加がある。事業所の現状と評価への取り組みを報告し、出席者の意見交換や助言などが出されている。会議での意見を検討して運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行事への参加を要請し、苑の取り組み等をお知らせしたり、情報等を頂き、質問や相談にのって頂いている。又、連絡協議会時情報等の共有化・助言を頂きサービスの向上に取り組んでいる。	運営会議や行事への参加を要請したり、ホームの状況報告、質問や相談助言、情報交換は日常的にあり、サービスの課題解決や方法も共有認識し、サービスの質の向上に取り組んでいる。市の連絡協議会に参加して、行政と共に他施設との連携も密である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束による弊害を職員全体が理解し、身体拘束をしないケアの取り組みをし、日中は鍵をかける、外に出られる時には、声かけにて一緒に付き添うなど安全面に配慮して出来るだけ自由な暮らしを支援している。玄関にセンサーをつけ人の出入りをキャッチしている。	身体拘束の具体的な行動を全職員が認識し、勉強している。玄関は鍵をかけずセンサーを利用して、外出したい入居者には職員が付き添って、安全に配慮して自由な暮らしができるようにしている。言葉の拘束、心の拘束にも気をつけて抑圧感のないようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全スタッフが虐待による弊害を理解している。日常、何気なく使っている言動のなかで、虐待がないか、お互いに注意するよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域福祉権利擁護や、成年後見制度について学習し、皆が理解を深め、必要な時に活用し、支援出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・解約時には十分な説明を行っている。特に受診体制・入居費・その他の費用等、考えられるリスクや利用者さんの状態の変化により、契約解除に至る場合も含め納得・理解して頂き同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者さんの細かな訴えや意見・不満・苦情に耳を傾け、申し送り、ミーティング等で話し合い、改善している。又、家族にも気兼ねなく不満や苦情が言えるよう声かけを行い、思いやりのある優しい介護に努めている。</p>	<p>意見や要望については、重要事項説明書に明記し、入居時に説明している。面会時にも意見が出やすいように声をかけ、日ごろから要望を出しやすい雰囲気作りを心がけている。出された意見は会議で検討し、全職員が共有認識を持ち、結果を利用者や家族・運営会議で報告している。本人の意見は日常の会話の中からもみ取っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・申し送り等に出席し職員の意見や、要望を聞き、話し合い改善に努めている。</p>	<p>職員会議が毎月あり、職員から意見や要望が出され、話し合いを行い運営に反映している。必要時には頻繁に意見交換し、意見が反映されている。代表者は、結果を運営会議で報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得に向けた支援を行い、研修会への参加を呼びかけ、各自、向上を持って働けるよう努力している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会の内容をスタッフに報告し、実践出来ることは取り入れている。スタッフも参加できるよう取組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の地域密着型事業所連絡会の中で、学習会に参加したり、近隣のグループホームとの交流があり、相談や情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時前に必ず、家族・本人と何回か面談し、身体状態・生活歴・心配事や思い・希望を聞き、安心して生活出来るよう努めている。又、可能な限り入居前に見学に来て頂き、納得して入居して頂けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	時前に家族と面談し、不安や困っている事、又、要望等を聞き、家族の思いをしっかりと受け止め、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族が一番困っている事は何かしっかり聞いて、出来ることはすぐ対応し、不可能な事は、他のサービス等を紹介し、援助が受けられるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは利用者さんに教わる事も多く、人生の大先輩として尊敬している。「互いにくつろぎ互いにやすらぎ」の理念に基づき、一緒に生活する家族と位置付け、互いに支え合い安らげる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんの日常生活の様子や、変化等を家族に伝え、お互いの情報を共有化し、家族と同じ思いで、一緒に支えていく気持ちである事を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通い慣れた病院への通院や往診を受け、顔馴染みの方と交流を続けている。近所の知人宅への訪問も支援している。又、友人、知人の面会時は、ゆっくり談話出来るよう支援している。	地域住民とはほとんど顔馴染みという地域に密着した土地柄で、昔からの馴染みの病院受診や店での買い物を支援している。また、身内や友人の訪問も多く、地域の行事にも参加し、馴染みの人や場所の関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さん、それぞれの性格や心身の状態を、十分に把握し、利用者さん同士の関係が、うまくいくように支援している。又、お互いの居室を訪室し、励まし合ったりされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や施設に移られた方の家族に状況を聞いたり、見舞いや面会にも出かけている。又、相談があった場合は対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、ゆっくりと話を聞き、本人の思いを受け止め家族を交えて、本人の意向に添った暮らしの支援に努めている。	在宅で暮らしていた頃の情報を把握している。また、ゆっくり本人の話を聴き、しぐさや表情などから思いや暮らし方の希望を把握している。自己決定できるような言葉かけをして、家族と相談しながら、本人本位の暮らし方の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時、本人・家族に生活歴を聞き、入居後も家族や知人の面会時に情報を得て、その人に合った暮らしの支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを把握し、その方にとって充実した一日を過ごせるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の思いや要望・主治医の意見・スタッフの気付き・アイデアを反映させるようにしている。又、毎月のカンファレンスに、この意見を基にケアプランを作成している。	カンファレンスで検討し、本人や家族・かかりつけ医の意見を聞き、職員のアイデアを検討し、現状に合わせた介護計画を作成している。また、定期的にモニタリングを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録に食事量・排泄・水分摂取量・バイタルやその日の様子を、日中・夜間帯に分けて記録し情報を共有し、日々の変化を評価し、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者さん、一人ひとりのその時の状況に応じて、予定日以外の受診等、必要な支援に対応している。買物や見舞い等、本人や家族の希望にも応じている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者さんが安心して暮らせるよう、民生委員、老人クラブの方に苑の行事に参加して頂き、意見交換する機会を設けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からの主治医を希望される方には、通い慣れた医療機関に心身状態に合わせた受診が出来るようにしている。家族が都合が悪い時は、スタッフが同行し、苑での様子を報告している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。受診は家族や職員の協力で同行受診している。往診もあり、専門医との連携も密である。家族からの意見をもらい、適切な医療が受けられるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は介護職員と常に連携をとり、日頃の利用者さんの体調管理をチェックしている。緊急時には主治医・苑の協力医に対応してもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>家族を交えて担当医と話し合い対応可能な段階で、なるべく早期退院出来るよう取組んでいる。又、苑での状態を病院側へ情報提供すると共に、スタッフも見舞いに行き、状態を見守っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化を常に家族に報告・相談しながら、主治医やスタッフと話し合い、家族・主治医と連携を取りながら、苑で出来ない事を話し合い、出来ない事は、医療機関にお願いをしている。</p>	<p>入居時に重度化や終末期の支援についてホームでできることを説明している。本人や家族の意向を踏まえ、主治医や職員が連携をとり、安心して納得した終末期を迎えられるように、関係者と共有して、支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルは作成し、スタッフに配布している。心肺蘇生や異物除去の訓練を、勉強会にて実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を経て、避難訓練・消火器の使用方法等を行い昼間・夜間帯との自主避難訓練も行っている。地域の協力体制については、地元消防団・自治会・近隣住民・温泉職員にも協力を呼びかけている。温泉職員には訓練にも参加してもらっている。	消防署の指導のもと、地域住民や自治会・職員が協力して、避難訓練や消火訓練を年2回行っている。自主訓練も行っている。近隣住民も訓練に参加し、協力体制ができている。災害時対応の備蓄の管理も配慮している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、尊厳やプライバシーを傷つけるような声かけをしない様に、特に排泄の失敗時の声かけには、充分気をつけて対応している。	本人へのさりげない言葉かけや尊厳とプライバシーを大切にしている。人前では恥かしい事や守るべき情報は漏らさないなど、人権意識を職員全員で共有し、対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	起床時や食事・その日に着る服昼寝等、日常生活の中で本人の希望を聞きながら、納得のいくよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れをその方の体調・希望・思いを大切に、その方のペースに合わせて見守り、声かけし、柔軟な支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日に着る服を自分で選んだり、選べない人には一緒に選んで、行事や外出時には薄化粧をしたりして、特に自分らしいおしゃれができるよう支援している。又、本人の希望に合わせてスタッフにてカットの支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんと献立を決めたり、畑に野菜の収穫に行ったり、出来る人は、食材の準備も一緒にし、特別な日にはご馳走を作り後片付け等もしてもらっている。昼食は全スタッフと一緒に楽しんでいる。	利用者と職員が同じ食卓を囲み、季節食や行事食等を楽しんでいる。また、外食に行ったり、ホームの畑で採れた野菜を食材に使ったりして、食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量を毎食チェックし記録している。献立は記録を取り、メニューが重ならないようにバランスの良い食事と、個々の好みも反映した支援をしている。水分量もチェックし脱水・便秘にならないよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	スタッフは口腔ケアの大切さを良く理解しており、毎食前のお茶うがい、毎食後の口腔ケアの支援をし、週に一回薬による義歯洗浄を行い、清潔保持と感染予防に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげない声かけを行いトイレでの排泄を基本として、自分で出来る事は、少しでもして頂けるような支援を心がけている。	個々の排泄表があり、職員は排泄のパターンを把握している。オムツの使用を減らし、トイレでの排泄を基本として自立に向けた支援をしている。自尊心に配慮し、一人ひとりのサインを職員全員が把握し、生活リズムにそってさりげなく支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給に努め、食事の中で食物繊維や、乳製品が摂取出来るよう取り組んでいる。又、リハビリや歩行により、自然排便が出来るように取り組み、困難な方には、主治医と相談し、投薬にて様子観察し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日・順番・湯加減等、本人の希望や体調を考慮しており、脱衣所にはカーテンをつけてプライバシーの保護に努め、一人ひとりに合わせた支援を行っている。	本人家族から習慣や好みを聞き、入浴時の羞恥心や恐怖心・負担感などを職員が理解するように取り組んでいる。また、くつろいだ気分で入浴できるように、支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>散歩・リハビリ体操・レクリエーション・掃除など、その方に合わせた日中活動を促し、安眠出来るように支援している。日中も、その方の状態に気をつけ、休憩の声かけをしている。又、夜間不眠の方には、主治医に相談し、薬剤を含めた安眠策をとっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの処方箋はケース記録にファイルし、いつでも薬の内容・副作用が把握出来るようにしている。服薬時は確実に出来るように、食後に手渡し、確認している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食材の下ごしらえや、掃除・後片付けなど、出来ることをして頂き、感謝の言葉を伝え、役割を持つ喜びを支援している。利用者さんと相談しながら、花見や外食に出かけたり、季節の行事を楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調を考慮しながら、散歩したり、季節毎の花見やドライブに出かけたり、買物に出かけている。又、本人の希望に添って、ご家族等の協力を頂きながら、自宅や見舞いに出かけられるよう支援している。	個々の体調や気分を考慮しながら、日常的に散歩や買い物に出かけている。家族の協力のもと、花見やドライブ・墓参り・自宅訪問・友人の見舞い等、外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や能力に応じて、お金を持つ安心感と、自分の好みの物を購入し、支払いする場面作りをしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望に添って、電話をかけたり、取り次いだりしている。又、年賀状や暑中見舞い等、直筆にて書いて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音量・照明・室内の温度は、その場に居る方に合わせて調整している。トイレの臭い等もスプレー等を使用し、不快感のないよう配慮している。台所から聞こえる調理の音や匂い又、食堂前の菜園を見、生活感・五感への働きかけを工夫している。	共用空間は明るく清潔で、台所からリビングが見渡せ、暮らしのおいがして家庭的である。ソファやテーブルが置かれ、入居者は好きなところでのんびりと居心地よく過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室・玄関の内外や廊下・食堂に椅子を置き、一人でくつろいだり、入居者さん同志、外気欲やお茶を飲んで、談話出来るよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、使い慣れた家具や日用品を、持ち込んで頂き、その方の好みや、使いやすさに合わせた居室作りをし、居心地良く過ごして頂くように工夫している。</p>	<p>やすらぎを得るような、馴染みの物や使い慣れている物が持ち込まれて個性的である。ダンス・テレビ・位牌など、自宅と変わらないような居室作りになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの身体機能にあったベッドの高さ・手すり・車椅子・杖等、又、浴室にも手すり・滑り止めマットを使用し、その方の持てる力を活かし、安全で安心した生活が送れるよう工夫している。トイレ・居室等表札をつけ、自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない